

平成26年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
五條市	五條市立西吉野小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

- 体力に関する実態調査や、体力向上のための取組など、大学に協力を依頼して連携して進める。
- 校区内の人材に限らず幅広くボランティアを募集し、教育課題の解決に取り組む。

2 特徴的な取組の概要

○畿央大学との連携

放課後活動の時間を活用して、本校児童の体力向上の取組を進めた。前年度のスポーツテストの結果をもとに、全国・県より低位にある「シャトルラン」「ボール投げ」「立ち幅跳び」を、畿央大学の協力を得て測定し、半年後にも同種目を測定して、結果を比較、考察した。この間、大学生との交流を通して一緒に遊んだり、新しい運動を紹介してもらったりした。また、大学から助言をいただいて、本校では運動時間の確保や遊びの奨励などの取組を進めた。結果、運動能力が低位にある児童も上位にある児童と同様に伸び、全体でも半年間の伸び幅が、全国平均の1年間の伸び幅を上回った。しかし、それでも県中央部の同規模の学校と比較すれば低位にあり、より効果的な取組の継続が必要である。



畿央大学との交流

○関西大学学生ボランティアとの交流

夏期休業中に「西小サマースクール」と称した、学生との交流会を実施した。教える、教えられるという関係ではなく、学生と小学生が協働することを主眼においた。一緒に科学工作でものを作ったり、カレーライスを炊いて食べたり、大なわとびで跳んだりした。多くの学生に来てもら



西小サマースクール

ったので個人的な交流も多く、また、年齢差が教員とよりも小さいため会話ははずんでいたように思われる。保護者からは、日頃接することの少ない学生との交流や、学校の授業とは違った活動ができたことで、児童がいきいきと活動し、楽しい思い出ができたと喜んでいただいた。ほぼ全校生が参加していたこともあって、主に中学年を対象にした活動であったためか、高学年にはもの足りない活動内容であったという声もあった。大学生との交流は、毎年継続していきたいと考えているが、県外、市外から学生が来てくれる場合は交通費などの経費の問題もあって、学生ボランティアの確保が大きな課題となっている。